



2020年3月9日

各 位

株式会社ミマキエンジニアリング
代表取締役社長 池田和明
(コード番号：6638 東証第一部)
問い合わせ先 取締役経営企画本部長 清水浩司
電話番号：0268-80-0058

サイングラフィックス向け Roll to Roll UV硬化インクジェットプリンタ

「UJV100-160」販売開始に関するお知らせ

当社は、高画質かつ安定稼働するRoll to Roll UV硬化インクジェットプリンタ「UJV100-160」の販売を、地域を限定して2020年3月より開始しますので別紙のとおりお知らせいたします。

以上

サイングラフィックス向け Roll to Roll UV 硬化インクジェットプリンター

「UJV100-160」販売開始のお知らせ

～高画質・高生産・安定稼働、全て価値あるクオリティ～

株式会社ミマキエンジニアリング(本社/長野県東御市、代表取締役社長/池田 和明)は、高画質かつ安定稼働する Roll to Roll UV 硬化インクジェットプリンター「UJV100-160」を、地域を限定して 2020 年 3 月より販売開始いたします。

「UJV100-160」は新開発ヘッドを 2 基搭載し、高画質かつ高い生産性、安定稼働を追求した UV 硬化インクジェットプリンターです。地球を取り巻く環境問題や規制に配慮し、VOC(揮発性有機化学物質)フリーの UV 硬化インクを採用しました。プリント後に UV 照射することで即硬化するため、水性インクや溶剤インクに必要な乾燥時間を必要としません。さらに、UV 硬化インクは受層がない紙や PET フィルム、布などの市販メディアへ幅広く対応できるため、材料コスト低減に貢献します。

インクは新開発 UV 硬化インク「LUS-210」を搭載し、C,M,Y,K,W,Cl※1の 6 種類をご用意。インクセットは CMYK、CMYK+W、CMYK+WCl の 3 つのパリエーションから選択頂けます。隠蔽性が高いホワイトインクや、光沢感のあるクリアインクの特徴インクを組み合わせることにより、透明/有色メディアへのプリント、意匠性の高いニス引きプリントまで幅広い用途にご使用頂けます。

また、安定して高画質プリントを可能とする機能の NCU(Nozzle Check Unit)※2、NRS(Nozzle Recovery System)※3、MAPS4(Mimaki Advanced Pass System)※4に加え、新機能 DAS(Dot Adjustment System)を新搭載いたしました。DAS は、従来手作業で行っていたドット位置補正、送り量補正を自動化し、オペレータへの負担を軽減します。

「UJV100-160」は、高画質・安定稼働性・高生産性・ユーザビリティ向上のための Mimaki テクノロジーを結集させ、かつお求めやすい価格のエントリーモデル UV 硬化インクジェットプリンターです。

※1 Cl : クリアインクは後日対応予定

※2 NCU : ノズルの状態をセンサーで自動検知し、ノズル抜けを発見した場合は自動クリーニングを実行する機能

※3 NRS : ノズルクリーニングでも解消されないノズルトラブルがある場合に自動で不良ノズルを他ノズルに代替し、安定した画質でプリントを継続させる機能

※4 MAPS4 : パスの境界線をグラデーション調に印字することで、バンディング(横縞)や色ムラ、光沢縞を軽減する機能

◎概要

- Mimaki クオリティを実現する最新機能
 - ドット位置、送り量自動補正機能
 - 安定して高画質プリントを可能とする Mimaki テクノロジー
- お求めやすい価格で高い生産性
 - 最高 23 m²/h※5 の高速プリント
 - 乾燥時間が不要のためプリント後に即施行、ラミネート加工が可能
- UV 硬化インクによる多様なメディア対応力と付加価値プリント
 - UV 硬化インク採用で多種多様なメディアにプリント可能

※5 23 m²/h: 4C Draft モードでターポリンにプリントした場合

◎販売開始

2020年3月

◎販売予定台数

2,000台/年

◎報道関係者様からのお問い合わせ先

株式会社ミマキエンジニアリング
経営企画本部 IR 広報部広報グループ 遠山 哲也
長野県東御市滋野乙 1628-1
tetsuya.toyama@mimaki.com

◎一般のお客様からのお問い合わせ先

WEB サイト問い合わせフォームよりお問い合わせください。

<https://japan.mimaki.com/inquiry/negotiation/>

UJV100-160



◎主な特長

1. Mimaki クオリティを実現する最新機能

・ ドット位置、送り自動補正機能「DAS」

従来は目視と手作業で行っていた作図調整(ドット位置補正、送り補正)を自動化しました。調整にかかるオペレータの手間と時間を削減し、調整のばらつきを防止します。

従来の作図調整



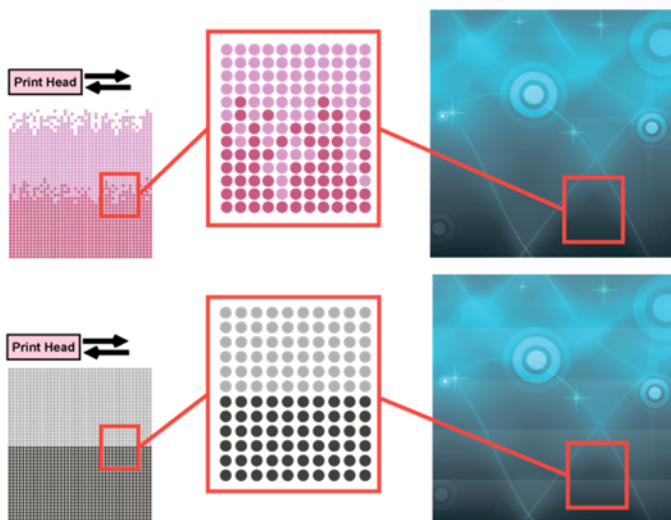
「DAS」による作図調整



・ 安定して高画質プリントを可能とする Mimaki テクノロジー

MAPS4

通常、パスの境界は直線になるため少しのズレにより、横シマが出るバンディングや、色ムラの原因になります。「MAPS4」(Mimaki Advanced Pass System 4)ではパスの端を拡散させ、境界線をグラデーションのようにすることでバンディングや色ムラの発生を軽減し美しいプリントを実現します。



MAPSあり

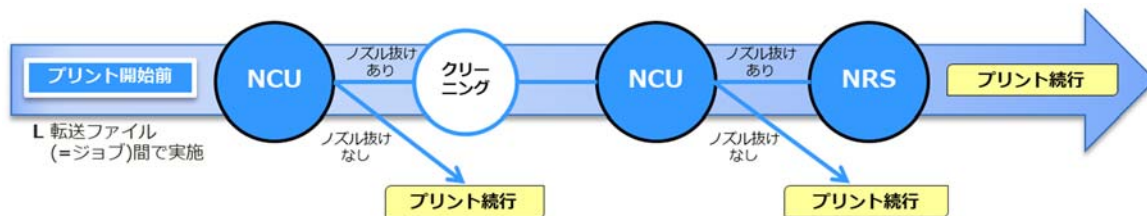
パスの境界を拡散させるためバンディングや色ムラを軽減して美しい画質を実現。

MAPSなし

パスの境界線でバンディングが発生。横スジや色ムラが入るため著しく画質を損なう。

NCU&NRS でノズル抜けを自動検知して復旧可能

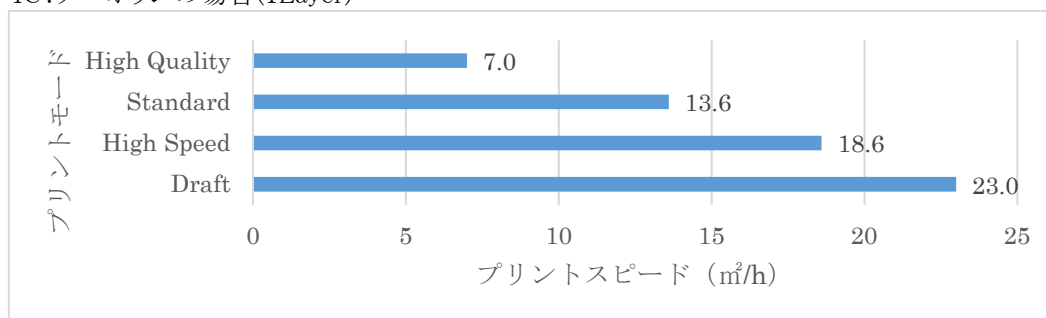
NCU(ノズルチェックユニット)でノズルの状態を自動で検知します。ノズル抜けを発見した場合は自動でクリーニングを行います。クリーニングでも解消されない場合、NRS(ノズルリカバリーシステム)が自動で不良ノズルを他のノズルで代替するため、サービスマンを待つことなく作業を継続できます。



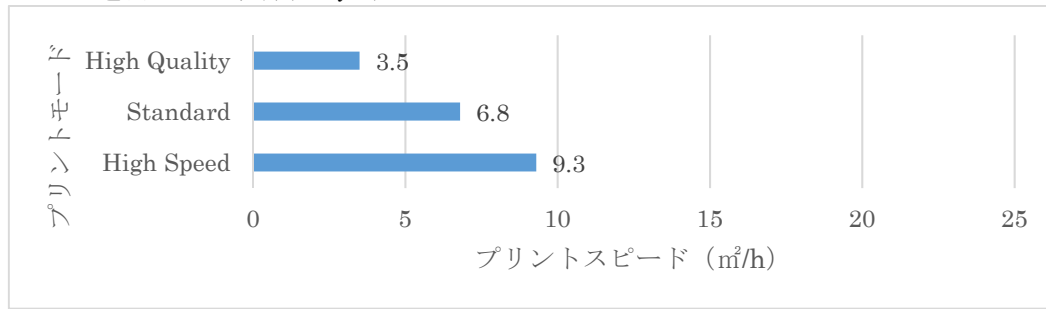
2. お求めやすい価格で高い生産性

・ 最高 23 m²/h の高速プリント

4C:ターポリンの場合(1Layer)



4C+W:透明塩ビの場合(2Layer)



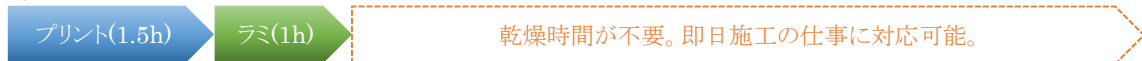
- 乾燥時間が不要のためプリント後に即施行、ラミネート加工が可能

UV 硬化インクは、プリント直後に UV 光(紫外線)を照射することでインクが瞬時に硬化するため、乾燥工程が不要です。プリント後すぐに後加工や施工を行えるため、製作時間を短縮し生産性を高めるとともに、短納期の仕事にも即対応できます。

ソルベントプリンタの場合



UVJ100-160 の場合



3. UV 硬化インクによる多様なメディア対応力と付加価値プリント

塩ビやターポリンはもちろんのこと、受理層がない紙、PET フィルムから布地まで、多種多様な素材にプリントが可能です。また、透明 PET フィルムに対してホワイトインクを使用した 2 層プリント、クリアインクを使用したニス引きプリントなどの付加価値印刷にも対応できます。



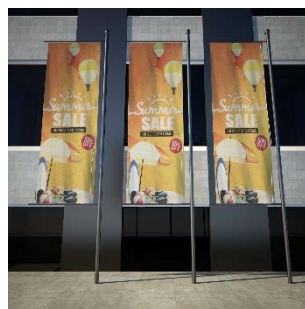
ポスター(経師紙,YUPO)



ターポリン生地



電飾 (FF)



ソフトサイン(布)



ウィンドウ装飾(透明 PET)



障子(和紙)



POP



ラベル・ステッカー

◎主な仕様

項目		UJV100-160
プリントヘッド		オンデマンドピエゾヘッド(スタガ配列)
プリント分解能		360dpi、720dpi、900dpi、1200dpi
インク種		UV 硬化インク LUS-210
インクセット		CMYK / CMYK+W / CMYK+WCl
インク容量		1L ボトル
インク IC		インク使用開始時チャージ方式
廃インク		ボトル式 (2L)
プリントギャップ		手動 2 段階 (2/2.5mm)
最大作図範囲		1,610mm
メディア	最大幅	1,620mm
	厚さ	1mm 以下
	ロール外形	φ 250mm 以下
	ロール重量	45kg 以下
	紙管内径	2,3 inch
メディア裁断		ヘッド部カッターによる自動裁断
巻取・繰出		巻取(自動巻取)・繰出(ホルダー)
インターフェイス		USB2.0 / Ethernet
電源仕様		本体:単相 AC100~120/200~240V±10%、50/60Hz±1Hz
安全規格		VCCI-classA, FCC ClassA, IEC 62368-1 準拠 ETL, CE マーキング (EMC 指令, 機械指令, RoHS 指令, 低電圧指令), CB 認証, RoHS 対応, エナジースター, RCM, EAC
外形寸法(W×D×H)		2,775mm×700mm×1,392mm
本体重量		167 kg

※記載の仕様、デザイン、寸法などは、技術改善等により予告なく変更する場合があります。